

岩手・宮城県際ネットワーク

— 平成 30 年 6 月 1 日発行 — (担当公所：岩手県 県南広域振興局) (第 154 号)

●編集・発行 地域づくり団体ネットワーク岩手・宮城県際交流会事務局

岩手県	県南広域振興局経営企画部	0197-22-2812	http://www.pref.iwate.jp/index.rbz
岩手県	沿岸広域振興局経営企画部大船渡地域振興センター	0192-27-9911	http://www.pref.iwate.jp/index.rbz
宮城県	北部地方振興事務所栗原地域事務所商工・振興班	0228-22-2195	http://www.pref.miyagi.jp/nh-khsgsin/
宮城県	東部地方振興事務所登米地域事務所商工・振興班	0220-22-6123	http://www.pref.miyagi.jp/et-tmsgsin/
宮城県	気仙沼地方振興事務所 商工・振興班	0226-24-2593	http://www.pref.miyagi.jp/ks-tihouken/

圏域情報

◇◆◆◇ 岩手県 県南広域振興局 ◇◆◆◇

「春の藤原まつり」が開催されました！！

5月1日(火)～5日(土・祝)、春の藤原まつりが平泉町で開催されました。

一番の見どころである3日の「源義経公東下り行列」では、総勢93人がきらびやかな衣装を身にまとい毛越寺から中尊寺金色堂までの約3kmをゆっくりと練り歩きました。平安時代末期、兄頼朝に追われて平泉に落ち延びてきた義経主従を、奥州藤原氏3代秀衡が温かく迎え入れたとされる故事にちなんだ催しで、今年で57回目の開催です。

源義経役に扮した、若手俳優の磯村勇斗さんは沿道から声がかかると手を振り笑顔で応えていました。艶やかな平安絵巻が、沿道に詰め掛けた見物客を魅了しました。

なお、平泉町では、春の藤原まつりを皮切りに、各種イベントを開催予定です。詳細については、下記にお問い合わせください。

(一社)平泉観光協会

電話：0191-46-2110

ホームページ：<http://hiraizumi.or.jp/>



(イベント予定)

■ 6月29日 平泉芭蕉祭全国俳句大会

■ 6月20日～7月10日 毛越寺あやめ祭り

■ 8月14日 中尊寺薪能(中尊寺白山神社)

U・I ターン者向けホームページ「けせん暮らし」開設！

当センターでは、年々進んでいる気仙管内の人口減少対策として、U・I ターン者※向けのホームページ「けせん暮らし」を開設しました。

※U ターンとは、生まれ育った故郷から進学や就職で都会へ移住した後、再び故郷に移り住むことをいい、I ターンとは、生まれ育った地元以外の地域に移り住むことをいいます。

国立社会保障・人口問題研究所により平成30年3月30日に発表された将来推計人口によると、気仙2市1町は、2045年には大船渡市で2015年比43・9%減の2万1,334人、陸前高田市で同41・9%減の1万1,486人、住田町で同52・3%減の2,730人に落ち込むとされています。

今後ますます気仙地域の人口減少が予想されることから、「気仙に住んでみたい」「地元に戻りたい」と思ってもらえる人を増やす試みとして、ホームページを開設しました。実際に気仙管内へ移住した方にインタビューし、移住を決めたきっかけや良かったこと、大変だったことなどを掲載しています。



現在、インタビュー記事を掲載している方は4名。移住を決意されたきっかけは、いずれも2011年に発生した東日本大震災でした。

ボランティア活動を通して、移住を決めた方、家族の大切さに気付き、地元に戻って来た方など・・・。

東日本大震災による被災地の現状を知り、少しでも力になりたいという思いで来られた方々です。



移住者のインタビューは、インタビューを受けた人が次の人を紹介するというシステムで毎月1人ずつ掲載していきます。その他にも、気仙のイベントや観光情報も随時掲載しておりますので、現在移住を考えている方・興味がある方だけでなく、ぜひたくさんの方に見てもらえたら嬉しいなと思います。

■ホームページ

「けせん暮らし」

<http://kesenlife.net/>

■問い合わせ先

岩手県 沿岸広域振興局経営企画部
大船渡地域振興センター地域振興課
電話：0192-27-9911

地域づくり団体協議会栗原支部の活動をご紹介します！

みやぎ地域づくり団体協議会栗原支部では、「活動拝見！地域づくり見学会」と題して、各会員団体を訪問し、活動の内容を視察する活動を平成27年10月から継続して行っています。

平成29年度の第3回目となる2月の見学会では、「六日町通り商店街の活動拝見！」と題し、空き店舗を活用した地域活性化に取り組んでいる栗原市栗駒地区の“六日町通り商店会”を訪問しました。

六日町通り商店街では、栗原市地域おこし協力隊が中心となり、商店街の空き店舗を調査しその活用に向けて、開業を希望する人とのマッチングを行っています。

この活動が実を結び、これまで美容室や飲食店、登山用品店、ジーンズショップが次々と開店しました。今後もバーなどが開業予定となっています。

この素晴らしい活動を知り、それぞれの地区の活性化につなげようと、支部会員や地域づくり活動に興味のある方々など19名が見学会に参加しました。



(見学会に参加した皆さん)

見学会当日は、六日町通り商店会の菅原秀明会長から商店街活動の概要や地域おこし協力隊との連携について、紹介いただきました。

また、地域おこし協力隊として商店街で活躍する水谷公宣さんから、栗原市の地域おこし協力隊の活動状況や六日町でのプロジェクトについて教えていただきました。

見学会参加者は、活動の様子を聞き、地域を良くしようとする強い思いや一步踏み出す勇気が大切なこと、そして、商店街が一体となった前向きな地域づくり活動に刺激を受けていました。



(活動状況を紹介する水谷氏)

活動紹介の後は、実際に新規開業店舗を訪問し、店主から開店に至った経緯などを聞いたり、くりこま商家のひな祭りを見学したり、商店街の活性化へ向けた取り組みを学ぶことができました。



(新規開業店舗への訪問の様子)

栗原支部では、これからも魅力ある地域づくりに向け、活動を継続して行きます。

■問い合わせ先

みやぎ地域づくり団体協議会栗原支部事務局

(宮城県北部地方振興事務所栗原地域事務所
地方振興部商工・振興班内)

電話：0228-22-2195

みやぎ県北高速幹線道路～Ⅱ期(中田工区)～

みやぎ県北高速幹線道路は、宮城県北部において東北縦貫自動車道と三陸縦貫自動車道を結び、栗原圏域と登米圏域の交流や連携を強化する地域高規格道路であり、被災地の復興支援や災害時における救援物資輸送等を担う復興支援道路です。

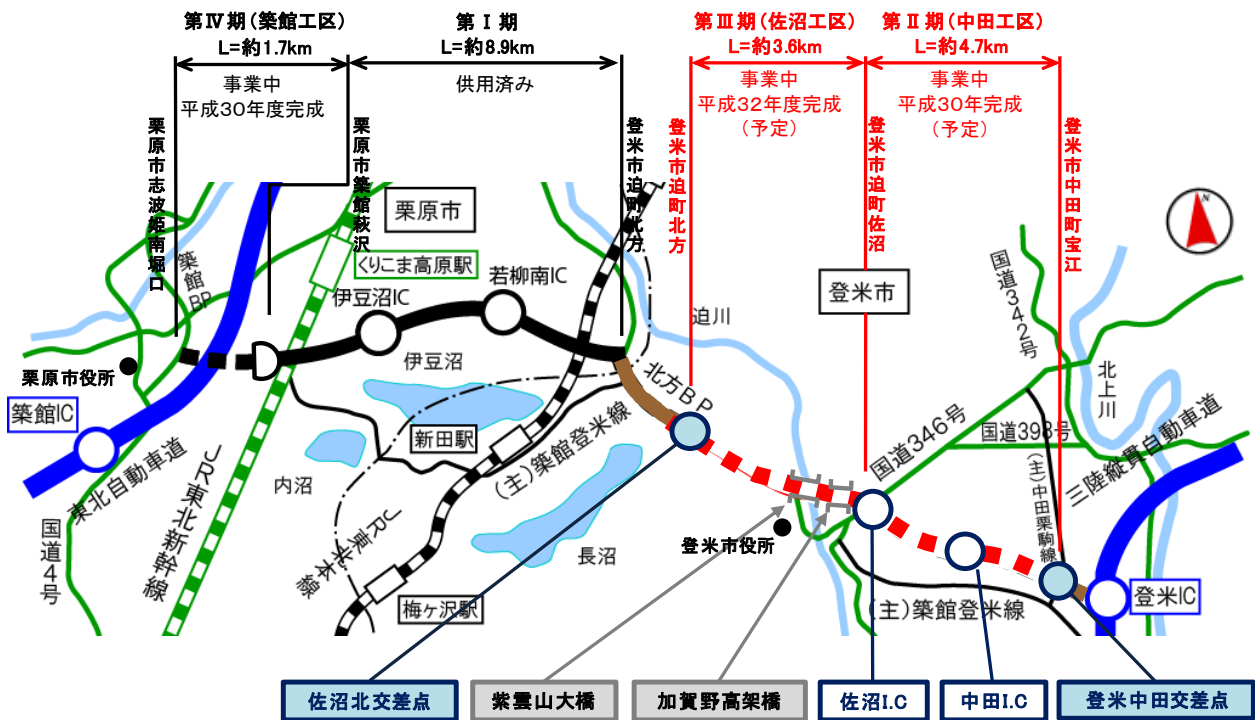
みやぎ県北高速幹線道路Ⅱ期(中田工区)とⅢ期(佐沼工区)の新設インターチェンジ及び橋梁等の名称は、登米市が実施した一般

公募の結果を踏まえ、下記のとおりに決定しました。Ⅱ期(中田工区)については、平成30年内の供用を目指して工事を進めています。

■問い合わせ先

宮城県東部土木事務所登米地域事務所
道路建設第二班

電話：0220-22-5115



中田インターチェンジ完成予想図

インターチェンジ及び交差点名	施工地名・箇所
佐沼北交差点	登米市迫町佐沼地内の国道398号(北方B.P.)との交差点部
佐沼インターチェンジ	登米市迫町佐沼地内の国道346号との接続部
中田インターチェンジ	登米市中田町地内の広域農道とよかぜラインとの接続部
登米中田交差点	登米市中田町地内の県道中田栗駒線との交差点部

橋梁名	施工地名	橋長
シウンザン 紫雲山大橋	登米市迫町北方字紫雲山から 登米市中田町石森字新蟹甲まで	741m
カガノ 加賀野高架橋	登米市中田町石森字新境堀から 登米市中田町石森字表まで	450m

宮城オルレ「気仙沼唐桑コース」が認定

宮城県では、韓国・済州島発祥のトレッキングコース「宮城オルレ」について、昨年11月に認定機関となっている社団法人済州オルレとの間で協定を締結し、九州オルレ、モンゴルオルレに続く、世界で3番目の認定に向けた準備を進めてきました。

平成30年4月17日（火）に済州オルレ事務局が唐桑を訪れ、最終の審査を行いました。その結果、「宮城オルレ」のコースの一つとして、気仙沼市唐桑町内を歩く「気仙沼唐桑コース」が認定されました。



気仙沼唐桑コースは、唐桑半島の先端に位置する「唐桑半島ビジターセンター」をスタート地点として、太平洋を一望できる海岸沿いの遊歩道や、民家の脇道などを通ります。コース上には、漁師町の歴史と暮らしを感じさせる小さな神社や津波石、折石などのビューポイントのほか、桜やツバキ、ニッコウキスゲなど四季折々の植物も多彩にあり、唐桑のどかで自然豊かな雰囲気を満喫できます。

コースのオープンは今年10月を予定していますので、ぜひお越しください。



■問い合わせ先

唐桑半島ビジターセンター内唐桑町観光協会

住所：気仙沼市唐桑町崎浜4-3

電話：0226-32-3029

開館時間：午前8時30分～午後4時30分

休館日：毎週火曜日

（但し、当日が祝日の時は翌日）

祝日の翌日

（但し、土日にあたるときは開館）

イベント情報など

◆◆◆◆ 岩手県 県南広域振興局 ◆◆◆◆ 毛越寺あやめまつり

毛越寺大泉が池周辺の約 30 アールのあやめ園に、300 種、3 万株の花菖蒲が咲き誇ります。紫、白、黄色と色鮮やかに咲き誇り、緑濃い浄土庭園との絶妙のコントラストがさらに彩りを添えます。

このあやめ園は 1953(昭和 28)年に平泉町民の発案で現開山堂前に植えたのが始まりで、翌年に明治神宮から 100 種 100 株を譲り受け、その後種類を増やして今日に至っています。

まつり期間中は、延年の舞、茶会、写生大会などが行われます。



■開催期間

平成 30 年 6 月 20 日(水)～7 月 10 日(火)

■場所

平泉町 毛越寺

■営業時間

午前 8 時 30 分～午後 5 時

■料金

拝観料：大人 500 円、高校生 300 円
中学生以下 100 円

■問い合わせ先

毛越寺 電話：0191-46-2331

◆◆◆◆ 岩手県 県南広域振興局 ◆◆◆◆ みちのくあじさいまつり

東京ドーム 3 個分以上の広大な杉山内に 500 種・6 万株のあじさいが植栽されていて、早咲きの「山あじさい」から遅咲きの「西洋あじさい」まで、日を追って色・形を変える、まさに変幻の花「あじさい」の魅力をご満喫いただけます。



■開催期間

平成 30 年 6 月 30 日(土)～7 月 31 日(火)

■場所

一関市 みちのくあじさい園

■営業時間

平日：午前 9 時～午後 5 時

土日祝日：午前 7 時 30 分～午後 5 時

(※入園は午後 4 時 30 分まで)

■料金

入園料：大人 800 円、小人 400 円

カート乗車料：一人 300 円

(歩行困難な方優先)

■問い合わせ先

(一社)一関観光協会

電話：0191-23-2350

◆◆◆◆岩手県 沿岸広域振興局経営企画部
大船渡地域振興センター◆◆◆◆
五葉山ツツジ鑑賞会

大船渡市、釜石市、住田町の3市町にまたがる岩手県沿岸南部の最高峰、県立自然公園・五葉山にて、ツツジ鑑賞会が開催されます。ツツジの紅い花が一斉に咲き揃う様は五葉山登山シーズンの幕開けを告げる風物詩となっています。当日は、山頂の日枝神社にて安全祈願祭を行います。

ぜひ、お越しください。



■開催日

6月3日（日）※小雨決行

■場所

五葉山

■問い合わせ先

一般社団法人 大船渡市観光物産協会
電話：0192-21-1922

◆◆◆◆岩手県 沿岸広域振興局経営企画部
大船渡地域振興センター◆◆◆◆
三陸ぐるっと食堂 in OFUNATO

2019年に開催する「三陸防災復興プロジェクト2019」のプレイベントとして、「食」を通じて三陸地域の魅力を発信するイベント「三陸ぐるっと食堂」を大船渡市で開催します。



■開催日時

7月7日（土）午前10時～午後4時
8日（日）午前10時～午後3時

■場所

キャッセン大船渡エリア
（JR大船渡駅から徒歩2分）

■概要

①地域PR団体によるご当地グルメ提供

(1)三陸の地域づくり団体

(2)愛Bリーグ加盟団体

久慈まめぶ部屋、いわてまち焼うどん
連合歓隊、等多数出展

②特設ステージ企画

地元芸能団体による演武等

■問い合わせ先

沿岸広域振興局 経営企画部
企画推進課
電話：0193-25-2701

◇◆◆◇ 宮城県東部地方振興事務所
登米地域事務所 ◇◆◆◇
東和町のゲンジボタル

夏の夜、登米市東和町では複数の地区で多くのゲンジボタルが飛び交います。中でも鱒^{ますぶち}渚地区は「東和町ゲンジボタル生息地」として国の天然記念物に指定されています。

例年は6月下旬から7月上旬が見頃ですが、天候などにより前後しますので、登米市東和総合支所に確認の上、お越しください。



■見頃

6月下旬～7月上旬

■場所

登米市東和町米川鱒渚（軽米）地区

■問い合わせ先

登米市東和総合支所

電話：0220-53-4111

■ホームページ

<http://www.city.tome.miyagi.jp/shisejoho/machizukuri/kankyo/kankyohozen/genjibotaru/index.html>

◇◆◆◇ 宮城県東部地方振興事務所
登米地域事務所 ◇◆◆◇
モノケたちの夏～地域の化物ガタリ～

登米市歴史博物館では、企画展「モノケたちの夏～地域の化物ガタリ～」を開催します。

この世には目に見えない異形のものたち～モノケ（幽霊・妖怪・疫病神など）～が潜んでいると信じられており、時には畏怖され、時には娯楽の対象となってきました。

登米郡南方村（現：登米市南方町）の郷土史家である高橋清治郎（1869-1944）は、登米地方のザシキワラシなどの話を柳田國男や佐々木喜善、ニコライ・ネフスキーなど同時期の民俗学者に提供しています。

今回の企画展では、浮世絵や書籍、写真などの様々な資料により、人々がモノケたちとどのように付き合ってきたのかを知ることができます。

■開催期間

6月30日（土）～8月26日（日）

■場所

登米市迫町佐沼字内町 63-20

■問い合わせ先

登米市歴史博物館

電話：0220-21-5411

しごと場 あそび場 ちょいのぞき気仙沼

気仙沼の仕事や暮らしの魅力を‘ちょいのぞき’できるイベントを開催しています。普段は水産業や農業などに従事している事業者が、日々の仕事や暮らしを楽しく体験してもらえるようにプログラムを運営しています。いずれも、事前予約が必要で、定員になり次第締め切りとなります。

■日時

- ・ 6月 毎土曜日 午前8時30分～午前9時30分
土曜レギュラー気仙沼魚市場探検隊
～黒潮が運ぶ初鰹を追え！～
(魚市場の見学)
- ・ 6月3日(日) 午前11時～正午、
午後1時～午後2時
漁具屋のロープでつくる！
プラントハンガー(小物作り)
- ・ 6月10日(日) 午前10時～午後1時
ニッコウキスゲのお花見ハイキング
- ・ 6月16日(土) 午後3時～午後3時40分
函屋探検
- ・ 6月23日(土) 午前10時～午前11時30分
水産加工場見学
&サメの骨キーホルダーをつくろう！
- ・ 6月23日(土) 午後1時30分～午後3時30分
本物のサメの歯キーホルダーをつくろう

■問い合わせ先

気仙沼市観光サービスセンター
電話：0226-22-4560
WEB：<https://cyoinozoki.jp>

気仙沼バル2018夏

「気仙沼バル」は、チケットを購入して市内の飲食店を‘食べ飲み歩き’するイベントで、第7回目を迎える今年は、7月6日(金)、7月7日(土)の2日間で、開催します。

今年の参加店舗は約40店で、当日は、各開催エリアを無料バスが巡回しますので、離れたエリアの飲食店をはしごすることもできます。また、開催期間中には、エリア毎にライブ演奏などのイベントを行います。

3枚綴りのチケットは、前売りチケットを2,300円、当日チケットを2,500円で販売し、チケット1枚で、参加店が特別に用意したワンドリンク+ワンフードのバルメニューを楽しめます。

気になっていたお店に、入ってみるチャンスです。ぜひご参加ください。

■開催日

平成30年7月6日(金)、7月7日(土)

■前売りチケット販売場所

バル参加店舗
気仙沼「海の市」2階観光サービスセンター
気仙沼駅前観光案内所
気仙沼プラザホテル

■問い合わせ先

気仙沼バル実行委員会
公式WEB：<http://kesenumabar.com/>

◆◆◆◆ 宮城県北部地方振興事務所
栗原地域事務所 ◆◆◆◆
「南くりこま高原一迫ゆり園」が開園します！

栗原市一迫の「南くりこま高原一迫ゆり園」が開園します。

広さ約3ヘクタールの園内には15万球のユリが植えられ、6月下旬から7月上旬にかけては早咲きの品種が、また、7月中旬から下旬にかけては遅咲きの品種が見頃を迎えます。

ユリが織りなす鮮やかな花のじゅうたんや、そのかぐわしい香りは、訪れる人々を楽しませてくれます。

美しく咲き誇るユリの中を、ゆっくりと散策しに、ぜひお越しください。

■開園期間



平成30年6月22日(金)～7月25日(水)
午前8時30分から午後5時まで

■場所

栗原市一迫真坂清水堰田地内

■入園料

一般670円、小中高校生310円

※あやめ園(6/15～7/4開園)との共通
入園券を購入するとお得です。

■問い合わせ先

南くりこま高原一迫ゆり園

電話：0228-52-4551

 <https://www.facebook.com/ichihhasamayurien/>

(南くりこま高原一迫ゆり園 Facebook)